問題 4 次のデータベースに関する記述を読み、各設問に答えよ。

J商会ではリレーショナルデータベースを使用し、健康食品の販売管理を行っている。次に販売伝票を示す。なお、各項目は次のように設定されている。

- ・販売コードは一回の販売ごとに一つ割り振られ、一意の連番が付与される。
- ・顧客コードは一意の番号が付与されている。
- ・商品コードは一意の番号が付与されている。
- ・商品によっては、営業担当者の裁量により若干の割引が認められている。

	販売	伝票		
販売コード	01234		日付	XXXX/10/22
顧客コード 顧客名 住所 TEL	9873 健康 花子 東京都千代田区 03-4444-5555		担当者番 [;] 担当者名	号 6789 J検 太郎
商品コード	商品名	定価	数量	販売額
172911	トマトリコピン	780	2	1, 560
173216	クロレラ	650	5	3, 000
173173	グルコサミン	3, 980	1	3, 900
	:	:	:	:
	•			

図1 販売伝票

<設問1> データベースの正規化に関する次の記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

図1の販売伝票をレコード形式にすると次のようになる。これは非正規形と呼ばれ、 販売伝票をそのまま表現したものである。下線が引いてある項目は主キーである。



図2 非正規形

次に, 販売伝票を正規化する。なお, 問題の都合上, 主キーの表示は省略している。

「第1正規化]

図3は、非正規形を第1正規化したものである。

第1正規化では、 (1) 。非正規形と同じキー項目ではレコードを特定することができなくなるので、主キーは (2) の複合キーとなる。

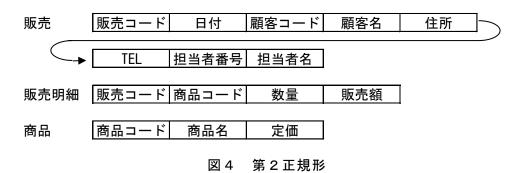


図3 第1正規形

[第2正規化]

図4は、第1正規形を第2正規化したものである。

第2正規化では主キーが複合キーである場合, (3)



[第3正規化]

図5は、第2正規形を第3正規化したものである。

第3正規化では, (4)

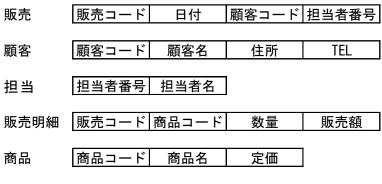


図5 第3正規形

(1), (3), (4)の解答群

- ア. 繰り返し構造を分離する
- イ. 主キー以外の属性間での依存関係を分離する
- ウ. 主キーとそれ以外の属性を分離する
- エ. 主キーを構成する各項目への部分的依存関係を分離する

(2) の解答群

ア. 販売コードと TEL

イ. 販売コードと顧客コード

ウ. 販売コードと商品コード エ. 販売コードと担当者番号

<設問2> 月間売上優秀者を表彰するため、担当者ごとの販売総額を求める次の SQL 文のに入れるべき適切な字句を解答群から選べ。なお、表示順は販売総額の 降順とし,同額の場合は担当者番号の昇順とする。また,月の開始日,終了日はホスト 変数":月開始日", ":月終了日"に格納されているものとする。

SELECT 担当者番号,担当者名, (5) AS 販売総額

FROM 担当 T, 販売 H, 販売明細 M

WHERE T. 担当者番号 = H. 担当者番号

AND H. 販売コード = M. 販売コード

AND 日付 BETWEEN:月開始日 (6) :月終了日

(7) 担当者番号,担当者名

販売総額 DESC, 担当者番号

(5) の解答群

ア. AVG(数量*定価)

イ. AVG(販売額)

ウ. SUM(数量*定価)

エ. SUM(販売額)

(6) の解答群

ア. AND イ. AS

ウ. FROM エ. TO

(7), (8) の解答群

ア. AND

イ. EXISTS

ウ. GROUP BY

工. HAVING

オ. IN

カ. ORDER BY

<設問3> 先月1ヶ月間の商品ごとの平均売上単価を求める次の SQL 文の に 入れるべき適切な字句を解答群から選べ。なお、先月の開始日、終了日はホスト変数 ":月開始日", ":月終了日"に格納されているものとする。

SELECT S. 商品コード, 商品名, 定価, (9) AS 平均売上単価 FROM 商品 S, 販売明細 M, 販売 H WHERE S. 商品コード = M. 商品コード AND M. 販売コード = H. 販売コード AND 日付 BETWEEN:月開始日 (6) :月終了日 (7) S. 商品コード, 商品名, 定価

(9) の解答群

ア. SUM(販売額/数量)

イ. SUM(定価*数量)/SUM(数量)

ウ. SUM(販売額)/SUM(数量) エ. 販売額/数量